取組事例　福祉タクシーの活用による住民の交通手段の確保

（猿払村）

猿払村では、村民の暮らしにおける課題である交通手段の確保を図るため、福祉タクシー事業を実施し、村民だれもが猿払で豊かに暮らすことができる環境づくりを目指している。

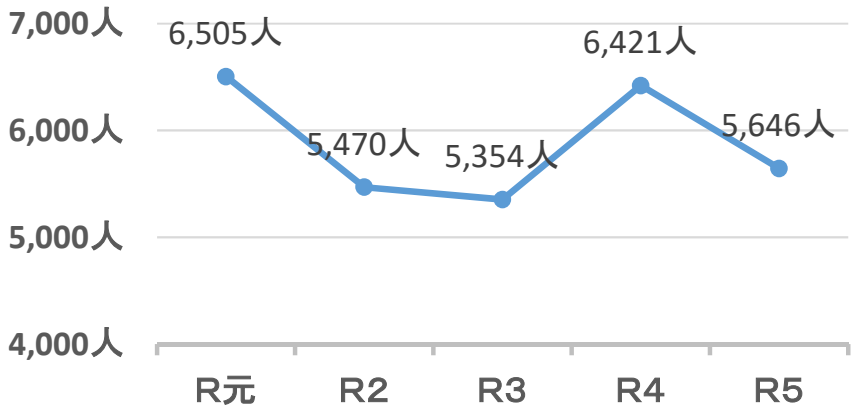
数値目標・KPI

	基準値（R元）	実績（R5）	目標値（R6）	進捗率（%）
利用者数	6,505人	5,646人	7,000人	80.7%
内無料利用者	―	476人	―	

取組の推進体制

猿払村地域公共交通活性化協議会にて意見等を聴取することにより、取組を効果的に推進。

福祉タクシー利用者数の状況



利用者数が、一定の水準を保っており、事業の成果が見られる

取組事例　村民の交通手段の確保

村民だれもが猿払で豊かに暮らすことができる環境づくり

○主な取組
- 村内在住の65歳以上の方と、身障者（１・２級）・療育・精神障害者保健福祉手帳、いずれかの交付を受けている方を対象とした事業
- 運行範囲は猿払村全域とし、ドアツードア運行
- 使用料金は片道300円

○主な成果
- 村民の外出機会の増加

無料乗車券の交付による利用者負担の軽減

○主な取組

≪70歳以上等の方≫
- 福祉タクシー利用対象者のうち、市町村民税が課税されている者がいない世帯に属している70歳以上の方と身障者（１・２級）・療育・精神障害者保健福祉手帳、いずれかの交付を受けている方を対象に同一年度に１人１回に限り片道12回分を交付

≪免許自主返納者等の方≫
- 福祉タクシー利用対象者のうち、運転免許証の更新をせずに失効し、その日から５年を経過していない方と運転免許証を返納した日から５年を経過していない方を対象に、年片道12回分を３年にわたって交付

○主な成果
- 利用者の負担が軽減及び村民の交通手段確保